



きのくに科学オリンピック 準優勝!

10月16日,11月9日に,科学の甲子園全国大会の和歌山県予選に当たる「きのくに科学オリンピック」が開催され,本校から有志の2チームが参加しました。そのうち環境科学科1年生6名チームが**準優勝**となりました。



まず,10月16日に「筆記競技」が行われました。理科(物理,化学,生物,地学),数学,情報に関する知識を問う問題及び知識の活用について問う問題で競います。その内容には,授業でまだ習っていない範囲も含まれています。続いて,11月9日に「総合競技」が行われました。プラスチック製の透明な箱を用い,決められた時間内に箱の中の仕組みを考えて工作し,傾きの変えられる斜面上に箱を置き,斜面の傾きを徐々に大きくしていったとき,どのような構造の箱が最も倒れやすいか,また最も倒れにくいかを競いました。科学に関する知識だけでなく,その知識をどう活用し,実際にどう具現化するのかが競われました。来年はぜひ優勝しその力を全国で披露できることを期待しています。



「筆記競技」の様子



「総合競技」の様子

第5回和歌山県データ利活用コンペティションに参加しました!

12月18日(土)に「第5回和歌山県データ利活用コンペティション」(全国から予選を通過した7チームによるプレゼンテーション)が開催され,本校からは2年環境科学科からチーム「うめみずぎ」(林祐樹さん,林慎一郎さん)とチーム「わかっぱ」(木村水羽さん,榊原新菜さん,中村奏葉さん,西村彩花さん,南村真海さん)の2チームが参加しました。チーム「うめみずぎ」の2人は「**データ利活用賞**」,チーム「わかっぱ」の5人は「**サイバーリンクス賞**」を受賞しました。惜しくも大賞は逃しましたが,審査員の先生方からも高評価をいただき,(県)企画課の方々も参考にしたいとコメントしていただきました。



チーム「うめみずぎ」



チーム「わかっぱ」